授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅴ　　演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	石岡和志　藤田博章　平林朋子	実務経験の有無	有	開講期	３年後期
科目ナンバリング	W5-3005s				

【授業の主題】

相談援助に係る知識と技術について相談援助実習における学生等の個別的な体験も視野に入れつつ、集団指導並びに個別指導による実技指導を行い、実践的な知識と技術として習得できることを目指す。

実習を振り返り、学んだこと、もっと学びたかったこと、学ぶ必要があること等自分の学びの課題と目標を明らかにする。理論と実践の関係について考えられるようにする。

【到達目標】

１．実習での学びや気づきを振り返り、事後学習としての学びの課題を整理できる。
２．利用者や職員との目的をもったコミュニケーション・かかわりについて、その重要性について理解できる。
３．社会福祉士の専門性について、実習での学びと経験を活かして、現実と課題について考えることができる。

【授業計画・内容】

第 1 回　オリエンテーションとグループ決め
第 2 回　実習での学びを振り返る・活かす①
第 3 回　実習での学びを振り返る・活かす②
第 4 回　実習での学びを振り返る・活かす③
第 5 回　利用者との関わりからの学びを振り返り活かす①
第 6 回　利用者との関わりからの学びを振り返り活かす②
第 7 回　利用者との関わりからの学びを振り返り活かす③
第 8 回　利用者との関わりからの学びを振り返り活かす④
第 9 回　利用者を理解し、ニーズを把握し、支援すること①
第 10 回　利用者を理解し、ニーズを把握し、支援すること②
第 11 回　スーパービジョン
第 12 回　人と環境の接点・相互作用
第 13 回　社会福祉士の専門性と社会福祉援助に関わる他の専門職について
第 14 回　ソーシャルワーカーの価値（倫理・理念・原則等）
第 15 回　振り返り

【授業実施方法】

基本的には演習形式とする。本演習は具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を行う参加型授業形態で実施する。

【事前・事後学習】

毎回、テキストを中心に 30 分の予習及び演習内容を踏まえた 30 分の復習を行うこと。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

【教科書等】

最新 社会福祉士養成講座 13　ソーシャルワーク演習（共通科目）中央法規出版 2021 年版

【参考文献】

その都度紹介する。

【成績評価方法】

授業態度等 10%、レポート 60%、ロールプレイ等 30%で総合的に評価する。60%以上の得点で合格とする。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で生活相談員として勤務してきた。数々の相談業務の経験を活かし、実践的な相談援助の知識及び技術を伝えたい。

【学生へのメッセージ】

実習等で経験してきた様々な援助場面を振り返り、社会福祉士の専門性について、実習での学びと経験を活かして、現実と課題について考えられることが将来の進路とも繋がってくる。グループ討議や事例検討を中心とする参加型授業形態なので積極性を発揮してもらいたい。